

第 3 回 地域づくり部会 会議概要

| | |
|------------|---|
| 日 時 | 令和 5 年 6 月 22 日 (木) 午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分 |
| 会 場 | 豊栄地区公民館 大講堂 |
| 出席委員 | 菊地委員、阿部委員、前田委員、恩田委員、佐久間委員、清水委員、佐藤委員、川島委員 |
| 欠席委員 | 小熊委員 横山委員 |
| 事務局 関係課 | 阿部建設課長、本田北出張所長 地域総務課 (中川補佐、伊藤主査、伊藤副主査) |
| 会議要旨 | <p>事前に募った意見をもとに調査・研究テーマを選定</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員より多数のテーマ案が出された (防災、産業、道路、除雪など)。 ・事務局で主だったテーマ案について集約 (別紙参照) したうえで、調査・研究テーマについて話し合った。 <p>→昨年度事業の「まなぼうさい」に引き続き防災を希望する意見や、すでに各地区で「互近助力」を実施しているため重ねて部会で実施することについて疑問視する意見など、様々な意見が出た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このほか、地域の世帯をネットワーク化 (ICT) などの提案があり、実現可能性などについて話し合った。 ・部会の調査・研究テーマに選定されなかった意見についても、区づくり事業のアイデアとして各委員が任意で提出してもらおう。 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・研究テーマは「防災」に決定。 <p>→区全体に関係する課題で、取り組む意義が大きい</p> <p>【第 4 回部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、研究テーマの詳細等を検討する予定 <p style="text-align: right;">以上</p> |

事務局提案（地域づくり部会 第3回）

テーマ

アウトプット（目標）

1 松浜海岸の飛砂予防植栽（地域、防災）

アキグミの植栽状況と飛砂被害状況の見える化

【例】

植栽のエリアマップ、成長写真、ひょうたん池



- ・松浜小学校
総合的な学習の時間と連携
- ・アキグミの生育状況等や被害状況
を見える化することで、事業評価

2 避難生活運営体制（防災）

避難時の生活面に焦点をあてる

【例】

「互近助力」※の自治協バージョン、避難所運営ゲーム



- ・各自治会へ自治協バージョン「互近助力」
シュミレーション内容を共有、提案

※「互近助力」…区づくり予算事業「高めよう互近助力」地域でつくる避難生活運営体制事業。住民全体の避難生活運営体制の立ち上げを目指し、地域と協働したワークショップや避難所運営訓練などを実施

3 商店街活性化（産業）

商店街の魅力の調査と発信

【例】

消費者ニーズや商店街の調査など



- ・調査した消費者ニーズを商店街へ
- ・ニーズ調査をもとに魅力アップにつなげる

4 北区の魅力発信（産業）

北区の魅力を発信しながら調査

【例】

北区の名所・名店をめぐりながらバスツアーなど



- ・バスツアーに参加した人にアンケートを実施し、北区の名所について検証（リピートしたか等）、魅力アップにつなげる

第 3 回 福祉教育部会 会議概要

| | |
|------|---|
| 日時 | 令和 5 年 6 月 22 日 (木) 午後 3 時 40 分～午後 4 時 20 分 |
| 会場 | 北地区コミュニティセンター 講座室 1 |
| 出席委員 | 清水部会長、遠藤副部会長、有田(一)委員、佐藤(茂)委員、竹島委員、三浦委員、日下委員、佐藤(哲)委員 8 人 |
| 欠席委員 | 佐藤(康)委員、此村委員 |
| 事務局 | 高山健康福祉課長、渡辺豊栄地区公民館長、上村教育支援センター所長、近藤地域総務課長補佐、深沢 (地域総務課) |
| 会議要旨 | <p>(1) 第 9 期委員提案事業にかかる調査・研究のテーマについて 4 名から提出がありました。別紙意見一覧のとおり その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の力を活用するのは良いと思う。学生にとっても意義のある活動となればなおよい。 ・自治協議会の団体もさまざまな活動をしているが、取り組みに共通するところもある。情報交換する場があれば、お互いの活動に役立つと思う。 <p>(2) 令和 6 年度区づくり予算事業について 事務局から、本日の本会議で依頼のあった標記事業の提案について、個人提案だけでなく、部会や少人数のグループでの提案も OK。また、本日いただいた意見も提出することも可能との説明がありました。</p> |

令和5年度 福祉教育部会 調査研究テーマ 意見一覧

| | 日頃感じている 地域課題 | 調査・研究したいテーマ | 過去の事業で継続して 実施したい事業 |
|---|---|---|--|
| 1 | 新潟市は脳血管疾患による死亡率が高い。北区は他の区に比べて特に脳内出血の死亡率が高い。 | 新潟市はなぜ脳血管疾患による死亡率が高いのか？ 特になぜ北区は他の区に比べて脳内出血の死亡率が高いのか？地域の茶の間を活用した健康講話・相談会(大学生も一緒に) | 青少年の生きる力を育む事業 地域コミュニティ活動活性化を支援する事業 |
| 2 | 地域の茶の間や自治・町内会でも、担い手後継者不足が課題となっている。 | 定年退職する60代の年代の方が取り組みやすい地域の活動はあるのか。 また地域の団体としては、担い手後継者不足を解決するためには、どんな工夫が必要なのか研究したいと思う。 | 昨年度の「応援します。さいしょの一步」のテーマが良いと思います。定年退職後に、地域デビューする時に、活動への後押しとなる講座があるとよいと感じています。昨年度は参加者が少なかったため、より参加しやすい講座を継続実施したい。 |
| 3 | 地域活動の担い手が高齢化している。 地域とともにある学校づくりの推進とあるが、関わる人が限られている。 自分の健康に関心がある人とそうでない人との差が大きいように感じられる。 | 地域活動の担い手をどのようにして発掘し活動に参加してもらえるようになるか。 | 医療福祉大と連携した事業(健康講座)は好評であったが、個人のところとどまるのではなく、発展させられないか。 |
| 4 | 北区内を走行している車両のマナーの悪さ、ひいては高齢者・児童等の交通被害が生ずる恐れが非常に懸念される。 闇バイト等による犯罪被害の未然防止及びそれらに対する教育の実施の必要性。 | 区内にある医療福祉大学および区内に多く居住する学生らと協働して健康福祉講座の開設 | 地域づくり部会との協働となると思うが、北区民の安全安心を総合的に考えていくうえで、見守りの中心としての活動を推進していく。 Ex. 自治協議会を活動母体として青パトの活動を始め、防犯、防災、交通安全等総合的な防犯力向上を図る。 |

第3回 自然文化部会 会議概要

| | |
|------------|--|
| 日 時 | 令和5年6月22日（木曜） 午後3時40分～午後4時30分 |
| 会 場 | 北地区コミュニティセンター 講座室2 |
| 出席委員 | 伊藤委員、小日向委員、飛鳥井委員、有田委員、小林委員、諏訪委員 寺山委員、石山委員 |
| 欠席委員 | 野口委員、坪木委員 |
| 事務局 関係課 | 産業振興課（横木課長）、区民生活課（高野課長）、地域総務課（東理課長、佐藤） |
| 会 議 要 旨 | <p>1. 今年度調査・実施したいテーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区をめぐる、魅力ある景勝地・施設等を見て、専門家の話を聞きながら学習する。 <p>※各世代の情報収集方法の調査、北区の魅力を知らせるような情報発信も併せて行う（アンケート調査）のはどうか。実施するかも含め手法等引き続き検討 （意見交換内容）</p> <p>飛鳥井さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内における川の果たす役割とは。を調査したいと考えた理由 ⇒まちなかに流れている川が減っている。コミュニティで環境再生の取り組みが行われていたが、徐々に減ってきているように思う。子どもたちが自然の魅力に触れる機会が減ってきているので、川の研究などを通して機会の創出などできないか。と考えた。 ・地域交流、文化・スポーツの現在 ⇒コミュニケーション、交流する機会が身近になくなってきている。もっと掘り下げて身近に感じられる区民の交友の場を掘り起こしたい。 <p>●福島潟の動画について</p> <p>豊栄高校のHPに音楽付きの動画が掲載されている。音楽家と交渉し、ネットにのせることを許可してもらったのか？事務局で確認する。</p> <p>●アンケート調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの景品として、これまで行ったフォトコンテストで入賞した作品を使い、卓上カレンダーやクリアファイルを作成し、自治協の認知度向上、北区の魅力発信も併せて行うのはどうか。 ⇒カレンダー、クリアファイル作成経費を調査する（事務局） ・アンケート調査の方法は、イベントで配るのでは全市的な意見にはなかなかならないし、回収方法が難しい。区だよりや、新潟情報等にQRコード付きで掲載し、抽選で景品を送るなどすれば多く集まるのではないか。 ・アンケートの内容は、各世代の情報収集方法を聞くだけでなく、北区の情報発信媒体としても活用し、北区のイベントや景勝地情報、北区の |

情報入手できる媒体紹介なども併せて行うのはどうか。

※内容について引き続き検討する

2. 決定したテーマについての活動スケジュールの検討

●北区めぐりの場所・日程について

・一日では回り切れないので、何日かに分けて行うか。半日ずつ、部会の時間など。

⇒・北地区（ひょうたん池、島見浜海水浴場、海辺の森等）

- ・福島潟で船に乗る
- ・まちあるきガイドから北区の歴史の話を聞きながら歴史スポットを巡る。
- ・北区郷土博物館を、解説を聞きながら見学する。
- ・ドローン映像などもみると違った視点から見ることができ、新たな気づきがあるのではないか。
- ・施設の方などからしっかりと話を聞きたい。

※北区めぐりの1回目の日程等については、後日案内することとなった。